

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成 28 年 2 月】

■調 査 概 要（データ対象期間：平成 28 年 2 月 1 日～2 月 29 日）

○調査期間：平成 28 年 2 月 26 日～3 月 22 日

○調査対象：市内中小企業 200 企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業 25 企業、製造業 21 企業、卸売業 16 企業、小売業 32 企業

飲食業 13 企業、サービス 43 企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計 150 企業>

○調査項目：2 月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう 3 ヶ月の業況見通し（DI 値を集計）

（注）D I (Diffusion Index) 値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

※DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概 況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が拡大

1. 業況判断

- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲24.0）よりマイナス幅が 4.6 ポイント縮小し、▲19.4 となった。業種別では、卸売業はマイナスから 0 となり、製造業、小売業、サービス業はマイナス幅が縮小した。建設業、飲食業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲31.4）よりマイナス幅が 2.7 ポイント縮小し、▲28.7 となった。業種別では、製造業、小売業、サービス業、卸売業はマイナス幅が縮小した。建設業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

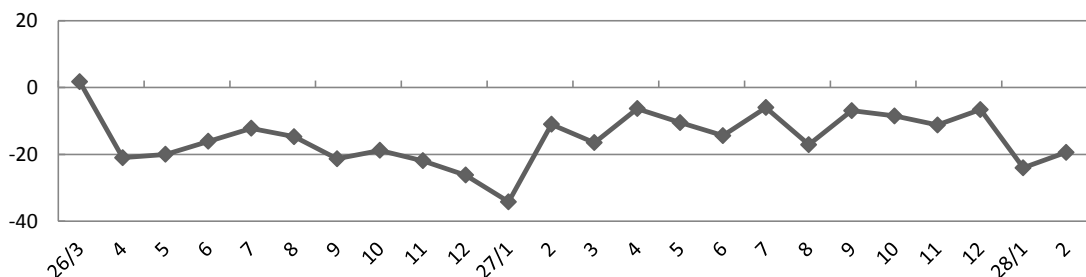
業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	13.3 (10.0)	54.0 (56.0)	32.7 (34.0)	↗ ▲ 19.4 (▲ 24.0)	10.0 (9.3)	51.3 (50.0)	38.7 (40.7)	↗ ▲ 28.7 (▲ 31.4)
建設業	4.0 (8.0)	56.0 (56.0)	40.0 (36.0)	↘ ▲ 36.0 (▲ 28.0)	0.0 (4.0)	56.0 (60.0)	44.0 (36.0)	↘ ▲ 44.0 (▲ 32.0)
製造業	23.8 (12.5)	42.9 (58.3)	33.3 (29.2)	↗ ▲ 9.5 (▲ 16.7)	14.3 (16.7)	52.4 (41.6)	33.3 (41.7)	↗ ▲ 19.0 (▲ 25.0)
卸売業	6.3 (7.1)	87.4 (50.0)	6.3 (42.9)	↗ 0.0 (▲ 35.8)	0.0 (7.1)	81.2 (28.6)	18.8 (64.3)	↗ ▲ 18.8 (▲ 57.2)
小売業	15.6 (6.3)	37.5 (46.8)	46.9 (46.9)	↗ ▲ 31.3 (▲ 40.6)	18.8 (3.1)	24.9 (50.0)	56.3 (46.9)	↗ ▲ 37.5 (▲ 43.8)
飲食業	0.0 (6.3)	53.8 (81.2)	46.2 (12.5)	↘ ▲ 46.2 (▲ 6.2)	0.0 (6.3)	46.2 (68.7)	53.8 (25.0)	↘ ▲ 53.8 (▲ 18.7)
サービス業	18.6 (15.4)	58.1 (53.8)	23.3 (30.8)	↗ ▲ 4.7 (▲ 15.4)	14.0 (15.4)	58.1 (48.7)	27.9 (35.9)	↗ ▲ 13.9 (▲ 20.5)

()内は前月データ

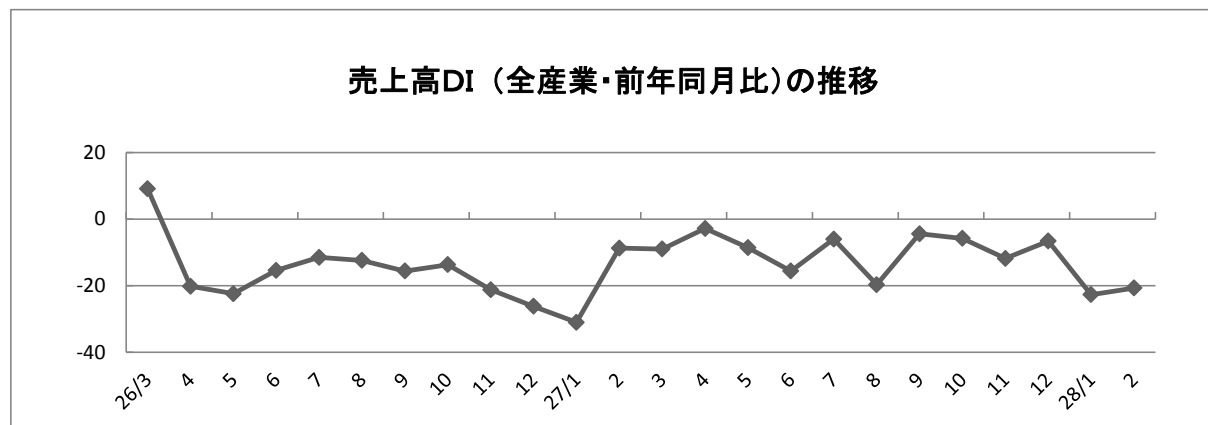
※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

業況判断DI（全産業・前年同月比）の推移



2. 売上高D I（前年同月比）

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲22.7）よりマイナス幅が 2.0 ポイント縮小し、▲20.7 となった。業種別に見ると、製造業、サービス業、小売業、卸売業はマイナス幅が縮小した。建設業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

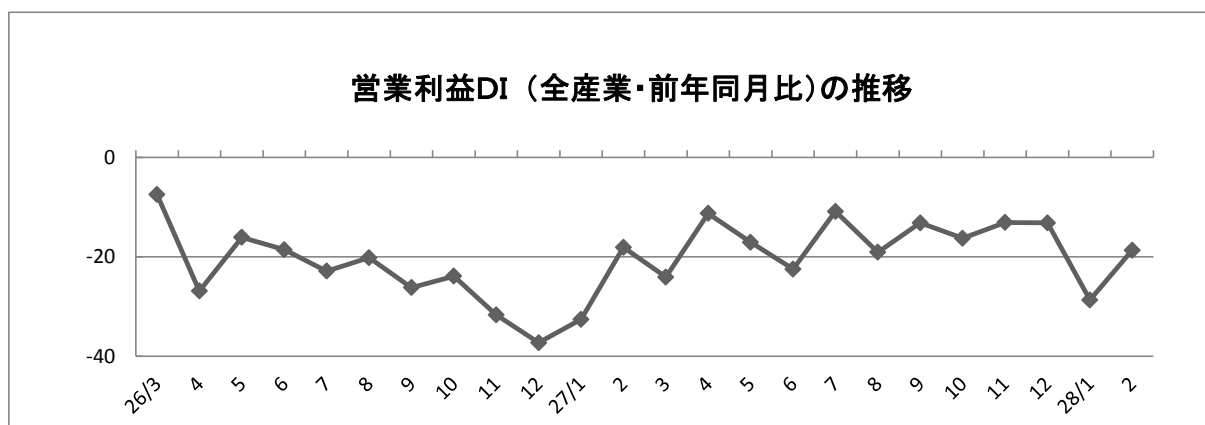


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
全 体	▲ 8.7	▲ 9.0	▲ 2.8	▲ 8.6	▲ 15.6	▲ 6.0	▲ 19.7	▲ 4.4	▲ 5.8	▲ 11.8	▲ 6.6	▲ 22.7	▲ 20.7
建 設 業	▲ 31.3	▲ 6.2	▲ 15.0	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 30.4	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 4.0	▲ 20.9	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 32.0
製 造 業	▲ 13.0	▲ 25.0	5.0	0.0	▲ 13.7	15.0	0.0	8.3	▲ 40.0	35.0	0.0	▲ 20.8	▲ 19.1
卸 売 業	▲ 6.3	▲ 26.7	0.0	▲ 25.0	▲ 18.8	▲ 11.7	▲ 11.8	5.9	▲ 6.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 28.6	▲ 6.2
小 売 業	▲ 11.5	▲ 16.6	▲ 21.2	▲ 20.0	▲ 27.0	▲ 18.0	▲ 25.0	▲ 15.1	▲ 18.1	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 43.7	▲ 34.3
飲 食 業	27.3	8.3	▲ 8.4	6.7	▲ 7.1	▲ 12.5	▲ 11.1	0.0	7.2	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 6.2	▲ 38.5
サービス業	▲ 5.7	5.0	14.7	0.0	▲ 10.6	10.0	▲ 20.4	2.2	13.1	▲ 9.5	4.3	▲ 10.3	▲ 4.7

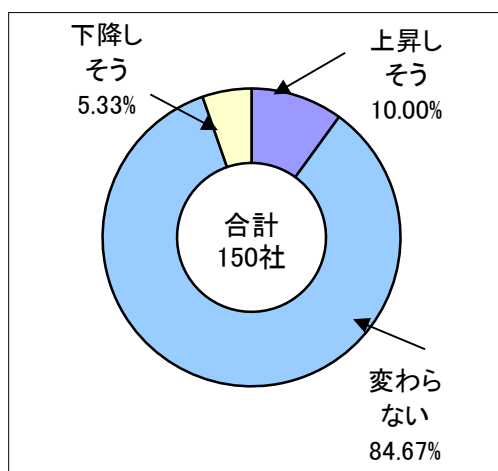
3. 営業利益D I（前年同月比）

○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲28.7）よりマイナス幅が 10.0 ポイント縮小し、▲18.7 となった。業種別に見ると、卸売業はマイナスからプラスに転じた。サービス業、製造業はマイナス幅が縮小し、小売業、飲食業、製造業はマイナス幅が拡大した。



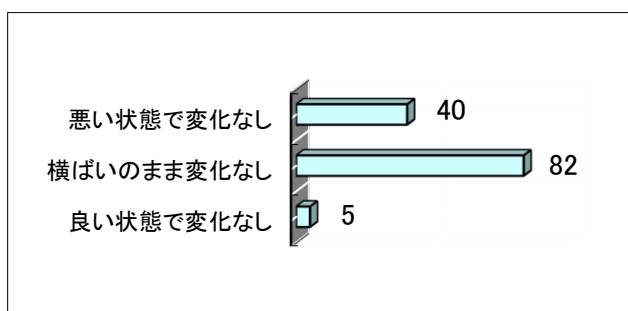
【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
全 体	▲ 18.1	▲ 24.1	▲ 11.3	▲ 17.1	▲ 22.5	▲ 10.9	▲ 19.1	▲ 13.2	▲ 16.3	▲ 13.1	▲ 13.2	▲ 28.7	▲ 18.7
建 設 業	▲ 31.3	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 32.0	▲ 33.3	▲ 39.2	▲ 32.0	▲ 33.3	▲ 36.0	▲ 20.8	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 48.0
製 造 業	▲ 26.1	▲ 45.0	▲ 10.0	▲ 30.4	▲ 31.9	15.0	▲ 17.4	0.0	▲ 30.0	20.0	▲ 5.3	▲ 25.0	▲ 9.6
卸 売 業	▲ 31.2	▲ 40.0	▲ 6.2	▲ 18.7	▲ 6.3	5.8	▲ 11.8	17.6	0.0	0.0	▲ 14.3	▲ 28.6	31.3
小 売 業	▲ 19.3	▲ 30.0	▲ 39.4	▲ 17.1	▲ 29.7	▲ 20.5	▲ 19.4	▲ 24.2	▲ 42.4	▲ 30.6	▲ 9.4	▲ 34.3	▲ 34.4
飲 食 業	27.3	0.0	▲ 16.7	▲ 6.7	▲ 7.1	▲ 31.2	▲ 11.1	▲ 11.8	0.0	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 31.2	▲ 46.2
サービス業	▲ 14.3	▲ 10.0	14.6	▲ 6.1	▲ 17.1	0.0	▲ 18.1	▲ 13.7	8.7	▲ 9.5	▲ 4.3	▲ 17.9	▲ 4.6



○平成28年3月～平成28年5月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ3.33ポイント増加し10.00%、「下降しそう」が1.33ポイント減少し5.33%となった。業種別の見通しDIは建設業(8.0)、製造業(14.3)、卸売業(0.0)、小売業(0.0)、飲食業(15.4)、サービス業(0.0)であった。

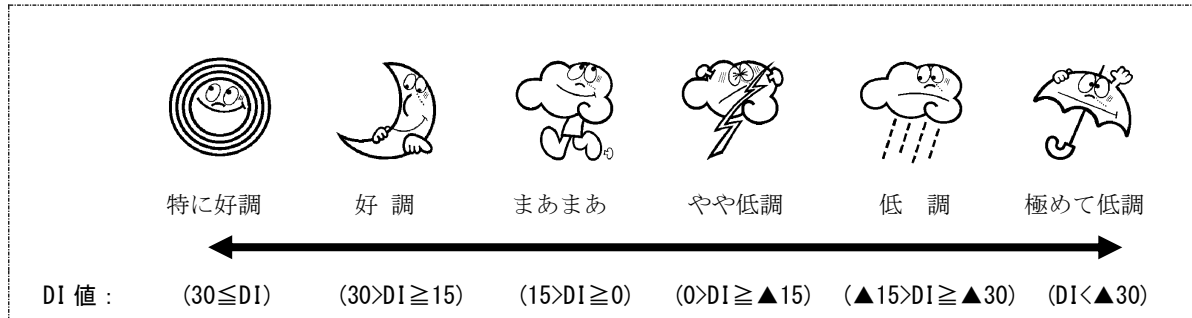
➡「上昇しそう」では、「引合いが増えてきたため」「季節的要因のため」「今後は受注量が増加する事が見込まれるため」(建設業)、「OEM先(相手先ブランド製造)の在庫調整が終わり、受注が増加するため」「需要期となるため」(製造業)、「季節的要因のため」(卸売業)、「PR効果が期待できるため」(小売業)、「3月・4月は良いと思われるため」「春に期待・願望があるため」「春休み・ゴールデンウィークがあるため」(飲食業)、「4月1日よりリブランドオープンするため」「国宝松本城の桜並木でインバウンド期待があるため」「婚礼シーズン・観光シーズンに入るため」「新入研修があるため」「暖かくなってくるため」(サービス業)といった声が寄せられた。



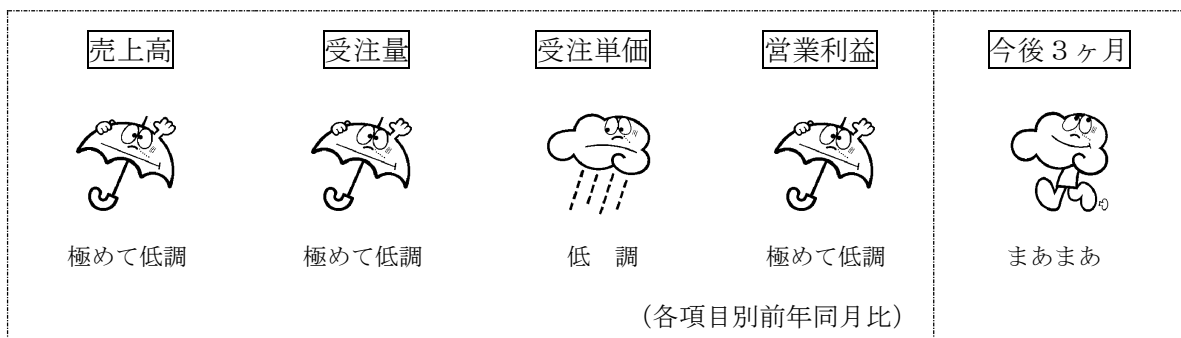
➡「下降しそう」では、「年度末で工事がほぼ完了し、繰越工事がほとんど無いため」「発注が少ないため」「国の2月補正が期待したほど出なかったため」(建設業)、「一般消費者の消費動向に大きな変化は見られないため」(製造業)、「衣料品を主体とした消費マインドの低迷のため」(小売業)、「2月の結果が思わしくなく、今後の景気も見通しは厳しく売上も好転しないため」(飲食業)、「3月は期末で状況は良いが、4月以降は未定のため」「いくつかのプロジェクトが完了し、新規受注の状況によるため」「平成28年より後、求職者支援訓練応募者減少のため」「年度切り替えで仕事の受注が見込めないため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
売 上 高	▲ 31.3	▲ 6.2	▲ 15.0	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 30.4	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 4.0	▲ 20.9	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 32.0
受 注 量	▲ 31.2	▲ 18.8	▲ 15.0	▲ 12.0	▲ 20.8	▲ 34.8	▲ 36.0	▲ 54.2	▲ 16.0	▲ 29.2	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 44.0
受 注 単 価	▲ 6.3	▲ 6.2	0.0	8.0	▲ 12.5	▲ 8.7	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 20.0	▲ 8.3	▲ 8.0	▲ 20.0	▲ 16.0
営 業 利 益	▲ 31.3	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 32.0	▲ 33.3	▲ 39.2	▲ 32.0	▲ 33.3	▲ 36.0	▲ 20.8	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 48.0
見 通 し	6.2	6.3	▲ 5.0	4.0	▲ 8.3	8.7	0.0	▲ 12.5	▲ 8.0	▲ 16.7	▲ 4.0	▲ 12.0	8.0

<経営者の目・見方・e t c>

総合建設

・4月当初からの県の工事が若干の潤いを持たせたが、全社にいきわたるわけでもないで厳しい状況が続いている。昨年より受注量が少ない。

建築工事

・なかなか契約に結び付かない。

鉄工

・仕事が首都圏に集中しているが、夏場から仕事量は増加しそうである。
 ・首都圏を中心とした建設業の繁忙状況が、ここ数か月は安定してきている。今後の見通しとしては、夏頃より後半にかけてかなりの仕事量が予想される。ただ、地方は低調で、地方の活性化という点では盛り上がらない感じである。
 ・地元も暖かくなれば、仕事が動き出すと感じる。

土木工事

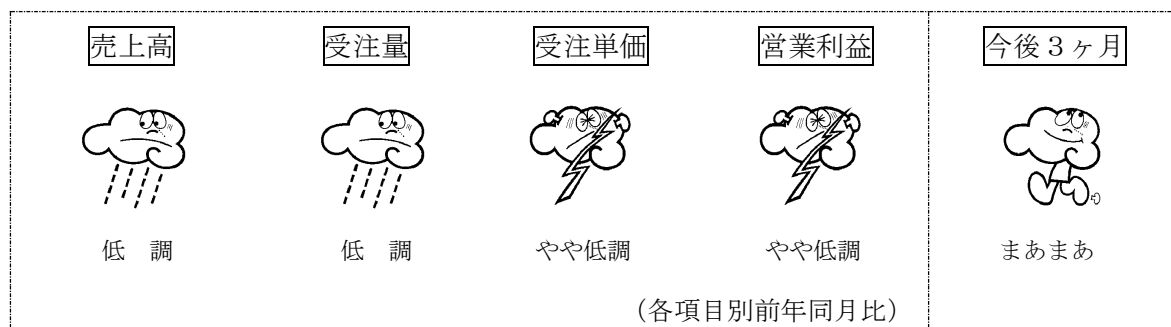
・市の予算は、大幅削減である。

電気工事

・新規物件が殆んどないため、資金繰りが大変である。この状態が続くと倒産する企業も出てくるので新年度に期待する。

- ・全体的に受注量は少ないので、4月・5月の動向が鍵となる。ゼロ金利になっても設備投資が出来ない。また、見通しが分からないので、長期計画が立てられず将来像が描けない。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
売上高	▲ 13.0	▲ 25.0	5.0	0.0	▲ 13.7	15.0	0.0	8.3	▲ 40.0	35.0	0.0	▲ 20.8	▲ 19.1
受注量	▲ 17.4	▲ 30.0	▲ 5.0	▲ 4.4	▲ 27.3	▲ 5.0	▲ 17.4	4.2	▲ 30.0	20.0	▲ 5.3	▲ 12.5	▲ 19.1
受注単価	▲ 21.7	▲ 30.0	▲ 25.0	▲ 17.4	▲ 31.8	▲ 20.0	▲ 17.4	▲ 8.4	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 21.1	▲ 25.0	▲ 14.3
営業利益	▲ 26.1	▲ 45.0	▲ 10.0	▲ 30.4	▲ 31.9	15.0	▲ 17.4	0.0	▲ 30.0	20.0	▲ 5.3	▲ 25.0	▲ 9.6
見通し	▲ 4.4	▲ 20.0	5.0	8.7	0.0	▲ 5.0	▲ 17.4	▲ 4.2	▲ 10.0	5.0	▲ 15.8	4.2	14.3

<経営者の目・見方・e t c>

小型情報機器組立

- ・円高による海外流出が心配である。

合成樹脂加工

- ・公共・民間共に年度内は一段落した感じがする。マイナス金利政策による設備投資の動きは見られない。

金属塗装

- ・昨年の2月よりは良かったが、今後は原油の価格・円高等、先行き不透明である。

印刷

- ・市長選関連の印刷物受注があった。

紙器

- ・受注量が少ない。

菓子

- ・製造業は業況に関係なく、ヒット商品を生み出す事で良くなるが、それは難しい事である。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
売 上 高	▲ 6.3	▲ 26.7	0.0	▲ 25.0	▲ 18.8	▲ 11.7	▲ 11.8	5.9	▲ 6.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 28.6	▲ 6.2
販 売 客 数	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 18.7	▲ 12.5	▲ 18.8	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 13.3	▲ 25.0	▲ 28.6	▲ 35.7	▲ 6.3
販売客単価	▲ 12.5	0.0	18.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 6.6	▲ 25.0	▲ 21.5	▲ 42.9	0.0
営 業 利 益	▲ 31.2	▲ 40.0	▲ 6.2	▲ 18.7	▲ 6.3	5.8	▲ 11.8	17.6	0.0	0.0	▲ 14.3	▲ 28.6	31.3
見 通 し	0.0	▲ 20.0	6.3	0.0	▲ 6.3	0.0	11.8	5.9	6.7	▲ 12.5	▲ 21.4	7.1	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

機械工具

・2月は早々と終わってしまったが、仕入先のメーカーの海外での売上が減少してきているため、昨年の秋口から品物の流通が良くない。しかし、他方では良いところも有るので差が激しい状態である。

土産品

・アジア地方から多くの観光客が訪れ爆買いと騒がれたが、地方での消費は増えていない。和物雑貨など商品構成を工夫しているが厳しい状況である。

自転車

・円安の影響で、輸入商品の値上げが多い。

青果

・寒暖の差が大きく、出荷物も安定しない事から相場の動きが大きかった。3月に向け春商材の売場を広げたいが、荷物が少なく、野菜・果物供に売場作りに苦労している。

魚介類

・昨年並みになった。

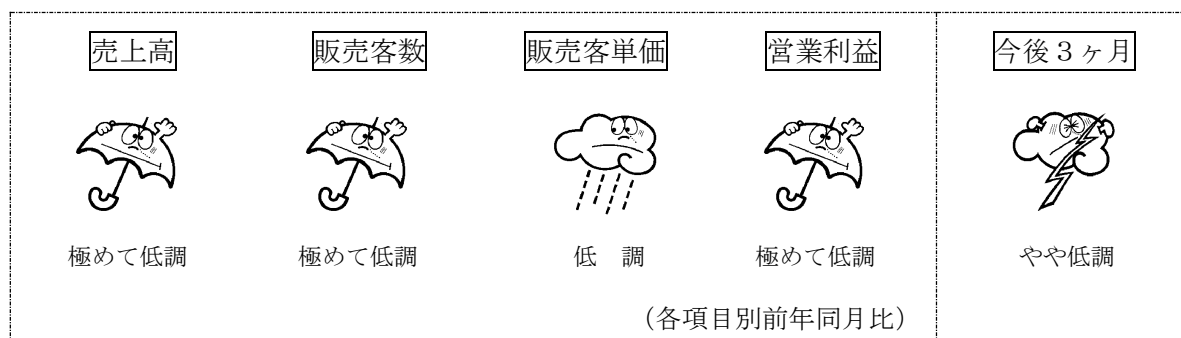
機械工具

・消費税8%は負担である。今後の受注がない。

金属製品

・先月同様、大きな変化はなく、地元・関東とも仕事は少ない状況である。建築・土木関係が動くのは、4月以降となる。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
売 上 高	▲ 11.5	▲ 16.6	▲ 21.2	▲ 20.0	▲ 27.0	▲ 18.0	▲ 25.0	▲ 15.1	▲ 18.1	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 43.7	▲ 34.3
販 売 客 数	▲ 30.8	▲ 40.0	▲ 12.1	▲ 5.7	▲ 24.3	▲ 10.3	▲ 30.6	▲ 27.2	▲ 18.2	▲ 11.2	▲ 9.4	▲ 43.7	▲ 37.5
販売客単価	3.8	▲ 13.3	▲ 6.0	▲ 2.9	▲ 16.2	▲ 12.8	▲ 22.2	▲ 12.1	▲ 27.2	▲ 22.2	▲ 15.7	▲ 15.7	▲ 37.5
営 業 利 益	▲ 19.3	▲ 30.0	▲ 39.4	▲ 17.1	▲ 29.7	▲ 20.5	▲ 19.4	▲ 24.2	▲ 42.4	▲ 30.6	▲ 9.4	▲ 34.3	▲ 34.4
見 通 し	3.9	6.7	6.1	2.9	2.7	▲ 7.7	2.7	0.0	▲ 15.2	▲ 2.8	0.0	▲ 3.1	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

ショッピングセンター

・2月は天候も比較的安定し、売上・客数も伸びた月だった。ただし、衣料品の動きは低調で、今後の展開は楽観視できない状況である。

生鮮食品

・以前と比べて2月は小売りが伸びたが、卸は良くなかった。寒いので外食が少ないと感じる。暖かくなるので景気が良くなってほしい。

印章	・寒さが厳しく、人出が少なかった。また、卒業・進学・転職等、思う様な受注が期待できなかった。 ・2月の初旬に行われた「まつもと城町バル」は相当人出があった。面白い企画を是非続けてもらいたい。月半ばの温暖な日で、雪が解けたので助かった。
住宅機器	・急に仕事が減少して暇になった。
ガラスサッシ	・景気は良くならない。消費者の財布の紐は堅く、景気が一日も早く上向く事を願う。
観光物産	・国道を走っているバスの台数が少なかったと感じる。
自転車	・人が出ないので、売上が伸びない。
パン	・天候による売上の変動はあったが、売上の見込める日にはしっかりと売上が伸びた。経営が安定してきているので、少しずつ社員の育成や教育をしていきたい。
陶磁器	・天候も平年並みで、イレギュラーな災害や事故が無く、何事も予定通り・計画通りに進んだ。うるう年で1日多かった以上に売上げも好調だった。
書籍・木のおもちゃ	・入園・入学に向けてのDMを発送したが、販売促進につながらない。個人消費が上向きにならないと、当分厳しい商戦が続く。 ・問屋の3・4・5位が、経営に行きづまった。理由の1つとして消費税が8%になった事が、悪化に拍車をかけたようである。副業が順調なので、一層の努力をしていきたい。
化粧品	・比較的天候が良かったので、客数が伸びた。選挙期間は、物販にも影響がある。 ・来店されるお客様が減少した。「まちゼミ」参加者が、新規顧客になる様にPRしていきたい。

5. 飲食業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
				
極めて低調	極めて低調	極めて低調	極めて低調	まあまあ
(各項目別前年同月比)				

【項目別DIの推移】

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
売上高	27.3	8.3	▲ 8.4	6.7	▲ 7.1	▲ 12.5	▲ 11.1	0.0	7.2	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 6.2	▲ 38.5
販売客数	36.4	8.3	0.0	6.7	▲ 7.1	▲ 6.2	0.0	0.0	0.0	▲ 28.6	▲ 12.5	▲ 31.2	▲ 46.1
販売客単価	▲ 9.1	▲ 8.4	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 21.4	▲ 25.0	▲ 22.2	▲ 5.9	▲ 7.1	▲ 28.6	▲ 18.7	▲ 12.5	▲ 30.8
営業利益	27.3	0.0	▲ 16.7	▲ 6.7	▲ 7.1	▲ 31.2	▲ 11.1	▲ 11.8	0.0	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 31.2	▲ 46.2
見通し	36.4	16.7	16.7	▲ 6.6	14.3	12.5	▲ 22.2	5.9	0.0	▲ 7.2	▲ 25.0	6.2	15.4

<経営者の目・見方・e t c>

料理	・寒さと確定申告・入学試験等、人の動きが止まった月であった。食材も高くなり厳しい状況が続いている。
郷土料理	・最低期である。リピーターの家族連れや観光客の来店に間隔が生じている感がある。
そば	・人通りが少なく閑散とした月だった。東信の真田・南信の御柱祭・北信は昨年からの新幹線開通等、お互いに相乗効果があるのに松本平はすっぽりと穴が開いた状態の感じがする。
レストラン	・前年に比べ売上は同じ位だが、原価は高くなっている。人件費・材料等が高いので苦慮している。
寿司	・大局的には、円高と株安・関連製品の値下げにはつながらない原油安など景気が良くなる要素はあまり見当たらず、実際のお客様の動向に沿ったものが重要であると感じる。しかし、策を打てば予想以上に来店頂ける事も事実であり、「繁盛店」と「それ以外」の二極化が更に進んでいると感じる中、「待ち」の姿勢ではなく、もっと「ずく」を出してお客様目線の営業に徹していきたい。 ・毎年2月は良くない月と思っているので、比較的気持ちは楽であった。寒暖の差が大きくて、その事がそのまま売上に関係するので、早く暖かくなってほしい。また、節分の「恵方巻」だけは、年々増加するのでやりがいを感じる。また、うるう年のおかげで1日儲かった感じがする。 ・全般的に、来客数が伸びてこない。
創作料理	・例年に比べて客数は多かった。3月に向け、町会・常会・各団体の動きが活発であるが、地域全体から見ると、とても景気が上向きであると思えない。多少でも景気が上向いて欲しいと思う。

6. サービス業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
				
やや低調	やや低調	まあまあ	やや低調	まあまあ
(各項目別前年同月比)				

【項目別DIの推移】

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月
売上高	▲ 5.7	5.0	14.7	0.0	▲ 10.6	10.0	▲ 20.4	2.2	13.1	▲ 9.5	4.3	▲ 10.3	▲ 4.7
販売客数	▲ 11.4	▲ 2.5	12.2	2.1	▲ 14.9	4.0	▲ 25.0	0.0	8.7	▲ 9.5	2.1	▲ 23.1	▲ 2.3
販売客単価	▲ 11.4	▲ 2.5	4.9	0.0	▲ 4.2	▲ 2.0	▲ 18.2	6.8	8.7	▲ 4.7	4.3	▲ 23.0	0.0
営業利益	▲ 14.3	▲ 10.0	14.6	▲ 6.1	▲ 17.1	0.0	▲ 18.1	▲ 13.7	8.7	▲ 9.5	▲ 4.3	▲ 17.9	▲ 4.6
見通し	14.2	0.0	2.5	▲ 2.0	0.0	10.0	9.1	6.9	2.2	0.0	0.0	2.6	0.0

<経営者の目・見方・etc>

ホテル	・1月・2月と好調であったが、選挙のせいなのか3月の宴会の動きが悪い。 ・昨年は一昨年前の雪影響と思われる婚礼件数の伸び悩みなどがあったが、本年については例年並みの動きである。
温泉旅館	・選挙の影響や日本人・外国人・地元等、全般的に動きが悪い月となった。 ・団体の宿泊が少ない状態である。
機械設計	・3月の期末に向けて忙しい。3月末に納品のため2月の売上は少ない。地元大手企業は、忙しそうなので良い事だと思う。
写真	・マイナンバー・大学受験用の写真で売上が伸びた。今後の卒業式・入学式の記念写真に期待する。
自動車整備・板金塗装	・寒い日が続き、人の動きも活発でない。今年は石油・ガソリン価格が下がり経費の削減はできたが、いつまで続くが不安である。
マッサージ	・求人の応募が沢山あった。
測量・設計	・経済対策を行い、景気回復を図ってもらいたい。
マナー講師	・春に向けて静かな時期である。新しい研修会企画を考えて、売上増加に結び付けたい。
タクシー	・人の動きが少なく、売上は前年同月及び前月よりも少なかった。
ペットサービス	・来店数は前年を下回ったが、客単価が上がった為、売上は前年を上回った。気候が温暖であったのも良かった要因だと思う。
理容	・例年より2月の売上は伸びなかった。
ソフトウェア	・老朽化したシステムの見直し案件が、いくつか見られる。ただ、10年前の業務やソフトウェアの環境に変化がない事はある得ない。旧版と同等の機能で安易に考えるのは大変危険であるため、IT企業は、会社の基幹ととらえ、改めて要求仕様の検討と適切なシステム設計に投資すべきである。